

熊本高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	芸術
科目基礎情報						
科目番号	0006		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械知能システム工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	教科書は特に使用しない。教材は各教員が準備する。					
担当教員	時松 雅史,道園 達也					
到達目標						
・ 様々な手法の活用と自由な発想により、アイデアを形にすることができる。 ・ 他者とコミュニケーションを図りながら、主体的に取り組むことができる。 ・ 課題を完成させるまで、意欲的に取り組むことができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	優れたアイデアを形にして、完成度の高い作品に仕上げることができる		考えたこと、想像したことを形にして表現することができる		考えたこと、想像したことを形にして表現することができない	
評価項目2	担当教員や受講生と頻繁に相談、あるいは協働しながら、課題の完成に向けて取り組むことができる		担当教員や受講生と相談、あるいは協働しながら、課題に取り組むことができる		担当教員や受講生と相談、あるいは協働しながら、課題に取り組むことができない	
評価項目3	制作予定時間を十二分に使って、意欲的に自分の課題に取り組むことができる		制作予定時間内で、自分の課題に取り組み、完成させることができる		製作時間内で、自分の課題を完成し、提出することができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	クリエイティブアーツとは、アイデアを形にする様々な手法である。本科目では、様々な活動を通して、仲間とともに、アイデアを形にする楽しさ、喜びを味わうことで、創造的な技術者になるための素質を養う。					
授業の進め方・方法	複数のテーマから、学生が4つのテーマを選択し、それぞれの教員の指導に従って活動を行う。原則、1テーマ四半期とし、与えられた課題を完成、提出させる。					
注意点	各テーマの課題を評価対象とするので、必ず提出期限内に課題を完成させた上で、担当教員に提出すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス・テーマの選択		各テーマの内容を確認する	
		2週	テーマ1の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる	
		3週	テーマ1の制作②		同上	
		4週	テーマ1の制作③		同上	
		5週	テーマ1の制作④		意欲的に取り組むことができる	
		6週	テーマ1の制作⑤		同上	
		7週	テーマ1の制作⑥		同上	
		8週	テーマ1の課題提出			
	2ndQ	9週	テーマ2の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる	
		10週	テーマ2の制作②		同上	
		11週	テーマ2の制作③		同上	
		12週	テーマ2の制作④		意欲的に取り組むことができる	
		13週	テーマ2の制作⑤		同上	
		14週	テーマ2の制作⑥		同上	
		15週	テーマ2の制作⑦		同上	
		16週	テーマ2の課題提出			
後期	3rdQ	1週	テーマ3の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる	
		2週	テーマ3の制作②		同上	
		3週	テーマ3の制作③		同上	
		4週	テーマ3の制作④		同上	
		5週	テーマ3の制作⑤		意欲的に取り組むことができる	
		6週	テーマ3の制作⑥		同上	
		7週	テーマ3の制作⑦		同上	
		8週	テーマ3の課題提出			
	4thQ	9週	テーマ4の制作①		コミュニケーションを図りながら主体的に取り組むことができる	
		10週	テーマ4の制作②		同上	
		11週	テーマ4の制作③		同上	
		12週	テーマ4の制作④		同上	
		13週	テーマ4の制作⑤		意欲的に取り組むことができる	
		14週	テーマ4の制作⑥		同上	
		15週	テーマ4の制作⑦		同上	

		16週	テーマ4の課題提出				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前2,前3,前9,前10,後1,後2,後9,後10	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	2	前4,前11,後3	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	80	0	0	0	0	80
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	0	20